

ウェブアクセシビリティ 基盤委員会のご紹介



ウェブアクセシビリティ基盤委員会（WAIC）は、ウェブアクセシビリティの規格である JIS X 8341-3 に基づき、日本のウェブアクセシビリティを前進させる基盤をつくる組織です。

「ウェブアクセシビリティ」が何か分からないので知りたい

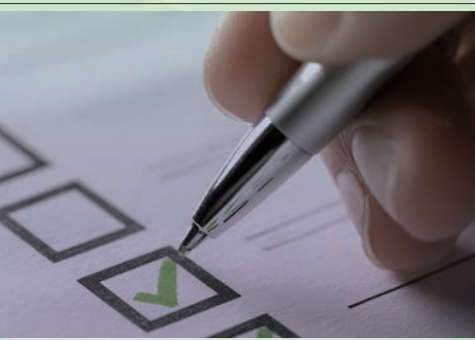
ウェブアクセシビリティとは、ウェブページにある情報や機能の利用しやすさを意味します。それがなぜ重要なのかを基礎から学べるコンテンツを多数公開しています。

初めてウェブサイトやシステムの担当になった方でもゼロから知識を身につけられるよう、JIS X 8341-3 の概要や最新動向を分かりやすく解説した入門セミナーの動画やスライド資料、よくある質問と回答（Q&A）などを提供しています。



「ウェブアクセシビリティの試験」を理解して 正しく事業者が発注して正しい試験結果を得たい

JIS に基づいた発注を行うための各種サポート資料をご用意しています。事業者へ適切に依頼する、JIS に基づいた試験を実施する、試験結果を公表するなど、JIS を用いるときに有用な各種ガイドラインを公開しています。これらを活用することで、正しい手順でウェブアクセシビリティを担保するための一連のプロセスを確実に進められます。



ウェブコンテンツを更新するときに ウェブアクセシビリティを損ねずに更新したい

日々のウェブサイトの運用や更新作業において、アクセシビリティ品質を維持するための具体的な方法や Q&A を提供しています。画像への代替テキストの適切な設定方法、PDF や動画コンテンツのアクセシビリティ確保など、現場で直面する技術的な疑問を解決し、誰もが利用しやすい状態を保つためのヒントが見つかります。



ウェブサイト



<https://waic.jp/>

セミナーなどの動画



YouTubeチャンネル

WAICは情報通信アクセス協議会の取り組みの一つです。
ウェブアクセシビリティの実装や試験に必要な資料を作成し、
JIS X 8341-3の理解と普及を広げる活動を行っています。

1 ウェブサイトとセミナーを用いた広報

WAIC の作業部会 1（理解と普及）では、ウェブアクセシビリティと JIS X 8341-3 の正しい理解・普及に必要な活動を行っています。具体的には、ウェブアクセシビリティの基礎知識や、JIS X 8341-3 の解説などのコンテンツを作成し、WAIC のウェブサイトで公開しています。

また、担当者が実際に役立てられるよう、定期的にアクセシビリティセミナーを企画・開催しており、その講演動画や資料もウェブサイトに掲載しています。さらに、WAIC に寄せられたご質問を Q&A で公開することで、具体的な問題を解消することもできます。

3 ガイドライン作成

作業部会 3（ガイドライン）では、ウェブサイトのアクセシビリティ確保・維持・向上に直接役立つ各種ガイドラインの作成と整備、および JIS X 8341-3 を用いた試験に関する諸問題の解決に取り組んでいます。

アクセシビリティにどう取り組むかを定めるための「ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン」、「準拠」「配慮」といった独自の対応度を用いるための「対応度表記ガイドライン」、外部の制作会社に適切に業務を依頼するための「対応発注ガイドライン」、そして適切に試験を実施するための「試験実施ガイドライン」といった、実務の各ステップが必要となる実践的なガイドラインを提供しています。

これらを活用することで、一連のプロセスを標準化し、確実な対応が可能になります。

2 アクセシビリティサポーテッド(AS)情報の作成

作業部会 2（実装）では、JIS X 8341-3 の実装に必要な資料の作成・公開と、実装時の課題解決に向けた活動を行っています。その中核となるのが「アクセシビリティサポーテッド(AS)情報」の作成です。AS 情報とは、各種のウェブ技術や実装方法が、実際に使われているブラウザや支援技術（音声読み上げソフトなど）でどのように動くかを検証した結果をまとめたものです。

作業部会委員がテストファイルを作成し、継続的に検証とメンテナンスを行っています。現場の制作者や運用担当者が、確実に安全な実装方法を選択できるようにするための重要な技術的根拠となっており、ウェブ全体のアクセシビリティ向上に貢献しています。

4 WCAGと周辺ドキュメントの翻訳

作業部会 4（翻訳）では、JIS X 8341-3 の試験に必要な資料として、ウェブ技術の標準化団体である W3C が作成する国際的なガイドライン「WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）」関連文書の日本語翻訳と公開を行っています。

JIS X 8341-3 と技術的に同等な WCAG 本体の翻訳はもちろんのこと、満たすべき具体的な条件である達成基準を詳しく読み解くための「解説書」や、達成基準を満たすための具体的なかつさまざまな方法を掲載した「テクニック集」などの日本語訳を提供しています。

また、WCAG 2.0 だけでなく、新しいバージョンの WCAG 2.1 や WCAG 2.2、といった新しい技術文書の翻訳や継続的なメンテナンスにも取り組んでいます。これにより、国内のウェブ担当者が言語の壁を感じることなく最新の国際基準にアクセスできる基盤を提供しています。

WAICの各種情報をぜひご活用ください

WAIC が作成・公開している各種ガイドライン、国際基準の翻訳ドキュメント、現場の疑問に答える Q&A、そして初心者向けのセミナー動画や早見表などは、WAIC のウェブサイトと YouTube チャンネルで無償で公開しています。

これらの情報を組織内の学習ツールとして活用し、アクセシビリティの品質を損ねることなく、持続的なウェブサイトの運用に役立ててください。